



JAPAN

A subsidiary of ETS, the creator of the TOEFL® test



- 59 -

大学入学者選抜における総合的な英語力評価を推進するためのワーキンググループ

TOEFL® テスト概要

ETS Japan 根本齊
2021.12.7

大学入試のあり方に関する検討会議 提言に関連して

大学の個別入学者選抜におけるTOEFL®テスト活用案の一例

現在団体向けテストとして実施しているTOEFL ITP®テストを使用

- 大学との連携により、個別に日程を設定し、紙版テストとCBT版テストを併用
- 同じテストフォーム、同じテストの異なるテストフォームの実施で公平さを保つ
- 2つの形式を併用することで大規模実施と地域に分散した受験双方に対応
- 高校との連携により、会場の提供協力をいただく
- ID確認の負担軽減が図れる
- 低コストでの試験実施が可能(現行のTOEFL iBTテストの約6分の1)
- CBT版を使用することで自宅受験を含め地域格差に対応可能
- 精度の高い測定結果と、グローバルスタンダードな結果比較が可能
- スコアの短時間での共有が可能
- 現在の2技能3セクション(リーディング、リスニング、文法)に加えスピーキングを2022年導入予定(AIによる自動採点を採用)
- 現在多数の大学での入学時英語力測定に使用されており、入学後のシラバスと連動した効果的な英語力向上を図れる



TOEFL®テスト 概要

- 1964年に開始された世界で最も実績のあるアカデミック英語測定試験
- 公式テスト: TOEFL iBT®テスト CBTで実施、テストセンター受験と自宅受験で運用
- 団体向けテスト: TOEFL ITP®テスト 紙版もしくはCBT版、実施機関での受験または自宅受験の双方で受験可能
- アカデミックなテストコンテンツで構成
 - TOEFL iBTテスト: 4技能を同時に一度で測定、複合技能型の問題含む
 - TOEFL ITPテスト: 2技能3セクションを測定 2022年よりスピーキングセクションを追加予定
- スピーキング、ライティングの採点にはAIによる自動採点を採用 (iBTテストは人の採点とAIを併用 ITPテストはAIのみ使用予定)
- スコアによる評価
 - TOEFL iBTテスト: 0~120点 各技能0~30点x4セクション
 - TOEFL ITPテスト: 各セクション31~68/67点 総点310~677点 (Level 1)
- Score Descriptorsによる各技能とスコアのCan-Do表記
- CEFRとの相関
 - TOEFL iBTテスト: B1~C2 TOEFL ITPテスト: A2~C1



TOEFL®テスト 日本での利用概況

TOEFL iBT®テスト

- 2006年開始以来100万人以上が受験
- 337大学が入試においてTOEFL iBTテストのスコアを活用*1
- 232大学がTOEFL iBTテストのスコアを単位認定に活用*1
- 各都道府県の英語教員採用、人事院、省庁の留学、企業の英語力要件等でも使用
- 2022年のテスト実施日は年間51日 日本でのテストセンター78カ所*2
- 受験料:245ドル(テスト日の7日前までの申し込み)*3

TOEFL ITP®テスト

- 1987年の開始以来400万人以上が受験
- 英語力測定、大学・大学院入試、留学者選抜、系列大学進学への指標等で使用
- TOEFL iBTテストに向けた準備利用
- 年間300以上の大学等教育機関、行政、企業が利用
- 受験料:4,000円弱(2技能版・CBT/紙とも同料金 人数等により変動)



TOEFL®テスト 現在から将来へ向けた取り組み

地理的・経済的配慮

地理的な配慮

- 自宅受験版(TOEFL iBTテスト)もしくはCBT版(TOEFL ITPテスト)で対応が可能)
- TOEFL ITPテストではCBT版で自宅受験が可能。また、高校等に会場提供を依頼することも可能

経済的配慮

- 53
- TOEFL iBTテスト:一定額の減額は可能、しかし大幅な減額については困難
 - TOEFL ITPテスト:比較的低廉な受験費用で提供が可能

障がいのある受験者への合理的配慮

- TOEFL iBTテスト:個別の状況を考慮した上で規定に沿った申し込みをいただく
- TOEFL ITPテスト:状況に応じて実施主体と連携して対応

問題集の出版

- TOEFL iBTテスト、TOEFL ITPテストとも過去問題を使用



TOEFL®テスト 現在から将来へ向けた取り組み

オンラインの受験システム・スコア配信システム

受験申し込み

- TOEFL iBTテスト: オンラインによる申し込み(PC、もしくはスマートフォン)
- TOEFL ITPテスト: 実施主体と連携してオンライン申し込み設定が可能

スコア配信

- TOEFL iBTテスト: スコア受取団体として登録いただき、オンラインで受領
- TOEFL ITPテスト: データで受信が可能



教育機関との連携

- TOEFLテストコンテンツを軸にした大学間の教育連携、高大の接続に関し、今後研究の場を設ける予定

新たな試験の開発

- TOEFLの新テストとして、TOEFL Essentialsテストを開発、運営開始。受験者・スコアユーザーのニーズの多様化に対応



TOEFL®テスト資料

- TOEFLテストの種類と運用
- TOEFL iBTテスト及びTOEFL iBT Home Editionの説明
- TOEFL ITPテスト
- TOEFL Essentials テスト
- ETS Japanについて



TOEFL®テストの種類と運営

主な対象

小・中学生

中学生・高校生

(高校生)・大学生

(高校生) 大学生・社会人

CEFR

A1-B1

A2-B2

A2-C1

A1-C2

B1-C2



TOEFL Primary®

8歳以上



TOEFL Junior®

11歳以上



TOEFL ITP®

16歳以上



TOEFL®
Essentials™

年齢制限なし



TOEFL IBT®

年齢制限なし

-99-



公文研究会
GC&T事業推進部
<https://gc-t.jp/>

ETS Japan / TOEFLテスト日本事務局

テスト一般情報、TOEFL ITP運営、公式教材販売 等
プロメトリック株式会社
会場受験、ETSアカウント情報 等



TOEFL iBT®テスト

-67-

https://www.toefl-ibt.jp/test_takers/toefl_ibt/



TOEFL iBT® テスト構成

セクション	問題数	時間	スコア
Reading	3または4パッセージ (各10問)	54~72分	0-30
Listening	会話：2題 会話：3題 講義：3題 講義：4題	41~57分	0-30
-89-	休憩10分		
Speaking	1 Independent Task 3 Integrated Tasks	17分	0-30
Writing	1 Integrated Task 1 Independent Task	50分	0-30
	*テストセンターでは マイク付ヘッドセット をつけて受験	TOTAL 約3時間	0-120





TOEFL iBT® Home Edition

-69-

自宅受験版TOEFL iBT®テストに関する
説明

https://www.toefl-ibt.jp/test_takers/at-home.html



自宅受験版 TOEFL iBT® テストについて

- 70 -



会場受験と同じ点

テスト内容、採点方式、スコアレポート、受験料、受験料の支払方法等は従来の会場受験と同じ



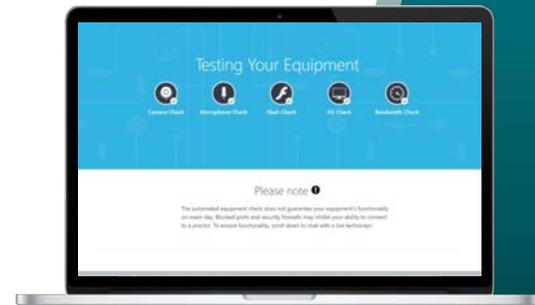
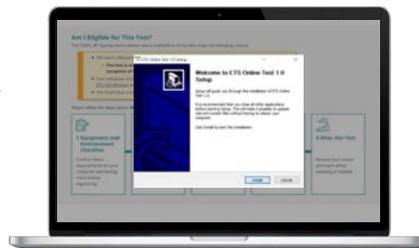
会場受験と異なる点

- ・ 週4日、24時間体制で実施中（21年8月現在）
- ・ 自分自身で所定の機材を用意（PC, マイク, スピーカー, カメラ等）
- ・ テストブラウザDL・システムチェック
- ・ オンライン試験監督者あり

受験における留意点

- ・ 一人きりの静かな部屋で受験
- ・ ベッド、ソファ、ラウンジチェア、マスクは使用不可
- ・ 規定に沿ったノートテイキング資材が必要

例：A3~A4サイズのホワイトボード、消せるマーカー、イレーザー等



受験当日の 準備

✓	チェック項目
	身分証明書の用意
	インターフォンの音を切っておく
	ペットや同居者が絶対にカメラに映らないようにする

チェックイン（15分程度）

試験監督者からの遠隔操作 & 音声指示

- 71-
 - ・背景に部屋のドアが映るように、スクリーンと椅子を移動
 - ・机の四角、部屋全体、腕、耳の中 を見せる
 - ・スマホをカメラが見える位置（背面側）に置く ※部屋にない場合は、そのように伝える
 - ・ノートテイキングアイテム を見せる ※用意していない場合は、そのように伝える
 - ・常に顎が見える状態にする

テスト中、録音・画面録画等をして不正行為の対象になると「Scores on Hold」となり、スコアが発行されない可能性があります。

ETS
TOEFL





TOEFL ITP[®]テスト

TOEFL ITP[®]テストは2つのレベル
(Level 1, Level 2)

CBT版の運用についてはお問い合わせ
ください

<https://www.toefl-ibt.jp/toefl-ipt/>



TOEFL ITP®テスト構成（2技能版）

Level 1（中級から上級まで、CEFR：A2～C1） 約2時間

TOEFL ITPテストでは2つのレベルを選択できます。

（TOEFL ITP®テストLevel 1は、TOEFL® PBTテストと問題数、スコア範囲は同じです）

セクション	問題数	解答時間	スコアの範囲
Listening Comprehension	50	約35分	31 - 68
Structure and Written Expression	40	25分	31 - 68
Reading Comprehension	50	55分	31 - 67
TOTAL	140	約115分	310 - 677

Level 2（初級から中級まで、CEFR：A2～B1） 約1時間10分

セクション	問題数	解答時間	スコアの範囲
Listening Comprehension	30	約22分	20 - 50
Structure and Written Expression	25	17分	20 - 50
Reading and Vocabulary	40	31分	20 - 50
TOTAL	95	約70分	200 - 500

※TOEFL ITP® Supervisor's Manualより引用

TOEFL® Essentials™テスト

2021年8月21日より運用開始された
自宅受験型新テスト

74
https://www.toefl-ibt.jp/test_takers/toefl-essentials.html



 **TOEFL. Essentials™**

TOEFL® Essentials™ テスト構成

セクション	問題数	時間	スコア	内容
Listening	30~45問	21~34分	1-12	様々な状況における会話・質問*
Reading	30~45問	22~33分	1-12	アカデミック、日常に関する短めの問題
Writing	15~19問+タスク2つ	24~30分	1-12	アカデミック、日常の問題に関する文章作成
Speaking	19問(タスク3つ)	13分	1-12	読み上げ、バーチャルインタビューへの返答など
Personal Video Statement	2題	5分	非採点	質問について自分の意見を答える
		TOTAL 約90分	1-12 (0.5単位)	

* リスニングの出題音声は、カナダ、アメリカ、イギリス、オーストラリア、ニュージーランドのアクセントです

+ 文法力と・語彙力のパーセンタイル表記あり

TOEFL Essentials™ と TOEFL iBT® の比較

項目	TOEFL® Essentials™ テスト	TOEFL iBT® テスト
内 容	アカデミック英語 + 一般英語 (それぞれ5割程度)	アカデミック英語
テストアイテムの表示	受験者のレベルによって出題内容が調整される 「アダプティブ方式」(Speaking除く3セクション)	一貫性のある設問のセット
タスクの特徴	短い即答式タスク	長く、深く考えるタスク
受験対象者	大学進学希望者を含む、幅広い層に受験可能	具体的な目標を持って、大学・大学院で 英語で学ぶことを目的とする方
試験時間	90分程度	3時間
受験費用	US \$110	US \$245
CEFR	A1~C2	B1~C2

ETS Japanについて



JAPAN

A subsidiary of ETS, the creator of the TOEFL® test

<https://www.etsjapan.jp/>

- 2021年6月15日に業務を開始
- 1981年よりTOEFLテスト日本事務局として運営を行ってきた一般社団法人CIEE国際教育交換協議会よりTOEFL®テストに関する事業を引き継ぐ
- ETS Japanの業務

- 77 -

TOEFLテストに関する広報・周知

団体向けTOEFLテストであるTOEFL ITP®テストの提供

TOEFL®テスト公式教材の販売

オンラインのライティング指導ツールCriterion®の提供

お問い合わせ テストの利用等に関するご質問

ETS Japan

TOEFL事業部 広報担当

Mail to : koho@etsjapan.jp

